

温小っ子、大健闘！ ～12月9日（日）第37回美方郡子ども会交歓卓球大会～

標記の大会に、本校から10名が参加しました。温小っ子は全員寒さに負けず、熱い戦いを繰り広げました。勝って晴れやかな笑顔を見せる子、負けて悔しそうにする子など、様々な姿を見せてくれましたが、10名全員が全力を尽くしてプレーをする姿がとても立派でした。

結果は下記の通りです。素晴らしい成績を収めてくれました。

優 勝…5年女子

敢闘賞…6年男子2名、5年男子、5年女子

大会への出場にあたり、運営、練習指導、送迎等で、役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には大変お世話になりました。本当に、ありがとうございました。

**校舎を磨き、心を磨く ～2学期、お世話になった校舎に感謝して～**

7日（金）はワックスがけ前の掃除、11日（火）は大掃除を行いました。1～6年まで、温小っ子はどの子も一生懸命に掃除をしていました。掃除の後ぴかぴかに磨かれた床を見て、どの子も満足そうでした。

鍵山秀三郎氏（イエローハット創業者、日本を美しくする会相談役）は、創業以来、掃除によって社員の心を穏やかにし、会社の業績を上げてきました。その実践は「掃除に学ぶ会」として全国から海外まで広がり、現在10万人以上が参加する社会運動にまで発展しています。掃除の力を知り、困難を乗り越えてきた鍵山氏には、学ぶべき言葉がたくさんあります。その中から、3つ紹介します。



・ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる。

⇒大切なことは、一步を踏み出す勇氣。具体的には、足元のゴミを拾う実践から始めることです。足元のゴミ一つ拾えぬ人間に、何ができましようか。

・心を磨くには、目の前に見える物を磨き、きれいにする事です。

⇒特にトイレ掃除を永年続けていると、心が磨かれ、浄化され、人を謙虚にします。

・現代の人は、感謝や感動の気持ちが多少あったとしても素直に率直に表現できません。なぜかという、と、「素直」や「率直」は次元が低いことのように勘違いして、恰好をつけたがるからです。例えば、「なんだ、こんなもの」という姿勢がそうです。

⇒感謝や感動の気持ちを素直に表現できる人が、非常に次元が高い人です。

寒い冬（桜）や、冷氣（朝顔）を乗り越えて ～自分の花を咲かせるために～

沖縄では、春、見事な桜はあまり咲かないのです。桜は、寒い冬の過程を経て春の訪れを感じ、花を咲かせるということです。

朝顔も、ある植物学者がつぼみに24時間光を当て続けても、花は咲かなかったそうです。朝顔の花が咲くには、朝の光に当たる前に、夜の冷氣と闇に包まれる時間が不可欠だということです。

私たちは、生きているというだけで、既に花は咲いています。目標に向けて努力することで、さらに命を輝かせ、より美



しく自分の花を咲かせられるようにしたいと考えています。ご協力、よろしくお願ひします。